

赤井川村地域公共交通計画の 推進状況等について

第 1 回 赤井川村地域公共交通活性化協議会
令和 7 年 7 月 2 9 日

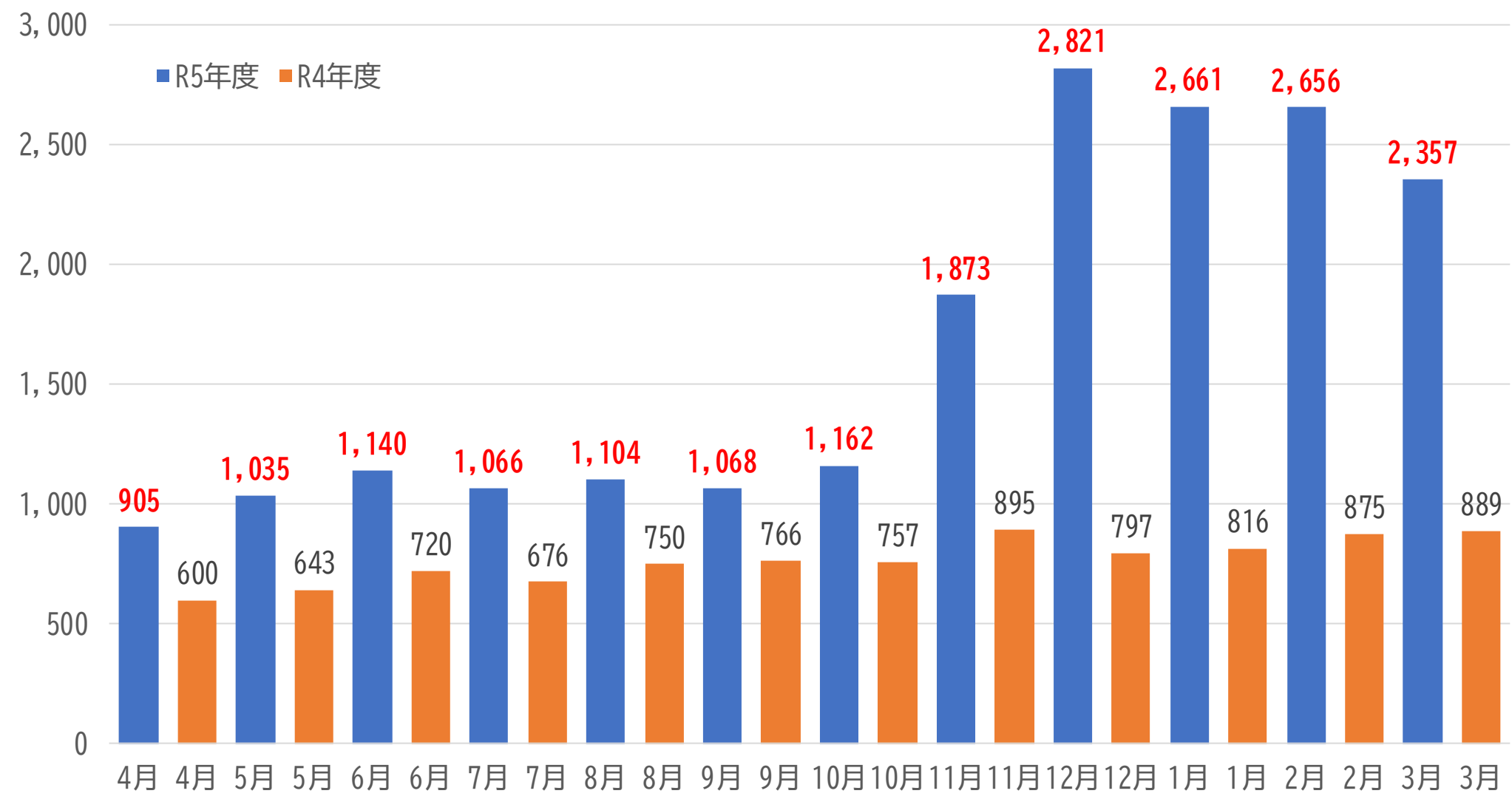
1. 地域公共交通計画に定めた評価指標の
達成状況
2. 令和6年度共創モデル実証運行事業
結果報告
3. 令和7年度「交通空白」解消緊急対策
事業の実施について

1. 地域公共交通計画に定めた評価指標の達成状況

評価指標	単位	目標値	実績	達成状況	備考
むらバスの利用者数	人/年	7,000人	19,848人	○	■ キロロリゾート従業員の利用もあり大幅な増加
むらバスの収支率	%/年	20.0%	28.2%	○	■ キロロリゾート従業員の利用もあり収支率は改善
むらバスの事業費における村負担額	千円/年度	13,819千円	18,076千円	△	■ 必要な経費の積算による金額のため、目標値の見直しを検討
通学時間帯における村外交通との接続状況	—	余市駅で接続	JR、高速バス、他路線バスと接続	○	■ 接続性の確保に加え乗り換え場所などをバスマップにて周知、バスロケーションシステムの導入
ニーズ把握の状況	—	実施	むらバス利用者の利用実態把握調査を実施	○	■ 令和6年1月に、利用者属性や乗降地点などを把握する調査を実施
意識醸成の場や機会の創出回数	回/年	6回	2回	△	■ 必要な機会は創出されている認識であるため、未達成ではあるが継続して施策等の実施に努める
広報での周知回数	回/年	3回	2回	△	■ 必要な周知は創出されている認識であるため、未達成ではあるが継続して施策等の実施に努める
地域公共交通従事者の確保	人/年	9人	11人	○	■ 赤井川ハイヤー、キロロリゾートともに運転手体制は確保されている

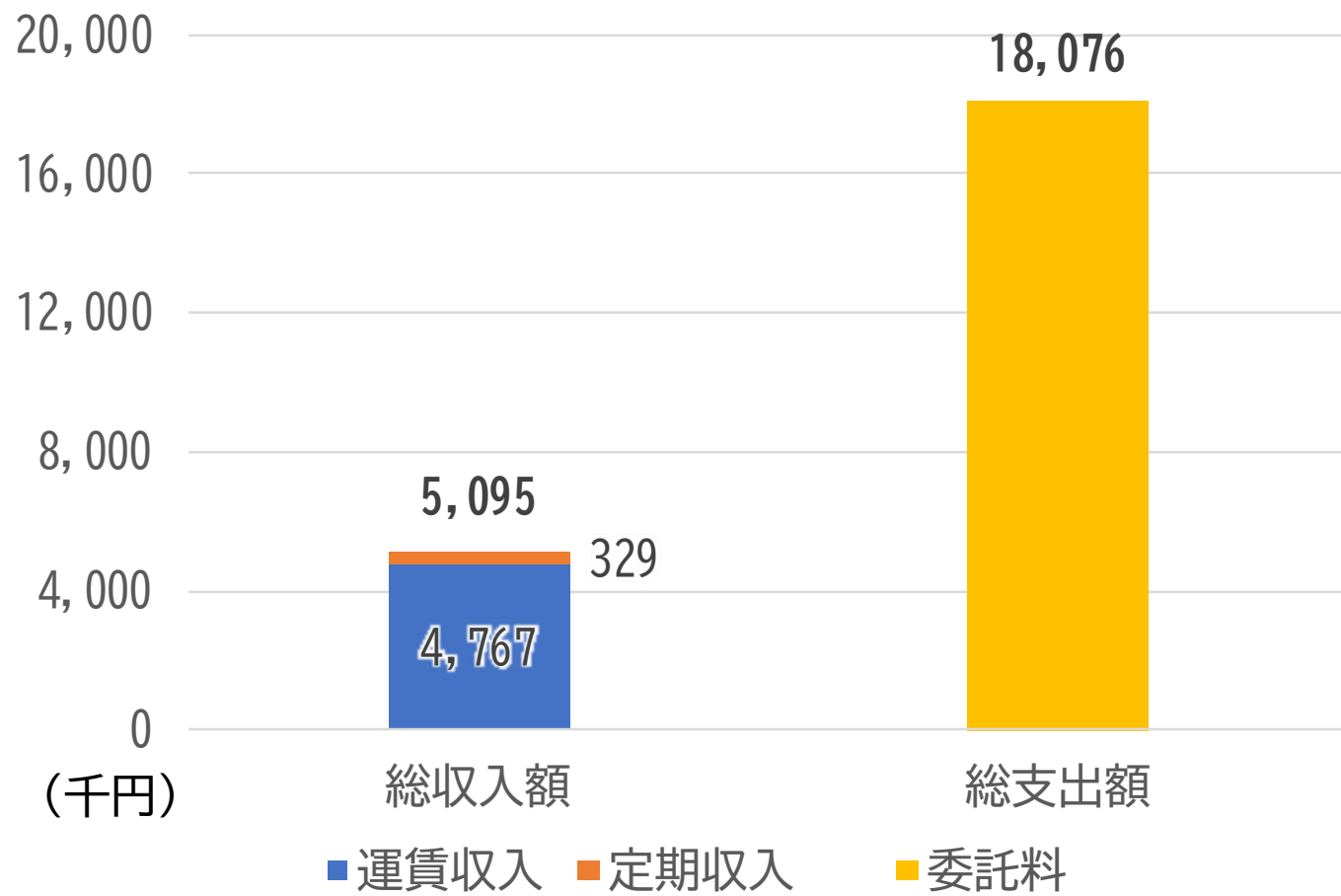
むらバスの利用者数

令和5年度で19,239人が利用しており、前年度比+10,055人



むらバスの収支率・むらバスの事業費における村負担額（収支状況）

収支率は28.2%、村負担額は18,076千円



【達成状況】○：キロロリゾート従業員の利用もあり収支率は改善、必要な経費の積算による金額のため、目標値の見直しを検討

1. 地域公共交通計画に定めた評価指標の達成状況

□ ニーズ把握の状況（前回協議会で報告）

- ・ 調査期間：令和6年1月13日（月）～1月15日（水）
- ・ 調査対象：むらバスの利用者
- ・ 調査方法：乗車時に右記のビンゴ式アンケートに回答いただき、
降車時に回収BOXに投函
- ・ 調査項目：右記参照
- ・ 回収状況：302票 ※回収率 70%
※キロロの外国人スタッフの急増により調査対象を限定

利用状況の調査にご協力をお願いいたします

【調査実施主体】：赤井川村 総務課 担当者：高松、末次
【調査実施機関】：日本データサービス㈱ 計画調査部 担当者：中野
各質問について、該当箇所を指で折り込み、降車の際に調査員へお渡しください。

問1 利用目的								
① 通勤 (帰宅)	② 通学 (帰宅)	③ 買物 (帰宅)	④ 通院 (帰宅)	⑤ 私用 (帰宅)	⑥ 観光 (帰宅)	⑦ 業務 (帰宅)	⑧ その他 (帰宅)	
問2 むらバスに乗車する前の交通手段				問3 むらバスから降車した後の交通手段				
① 徒歩	② 自転車	③ 自動車 (自ら運転)	④ 自動車 (送迎)	① 徒歩	② 自転車	③ 自動車 (自ら運転)	④ 自動車 (送迎)	
⑤ J.R. (小樽・札幌 方面)	⑥ J.R. (余市・倶知安 方面)	⑦ 高速バス	⑧ 路線バス	⑤ J.R. (小樽・札幌 方面)	⑥ J.R. (余市・倶知安 方面)	⑦ 高速バス	⑧ 路線バス	
⑨ スクール バス	⑩ タクシー	⑪ その他		⑨ スクール バス	⑩ タクシー	⑪ その他		
問4 乗車場所								
① キロロ リゾート	② 落合・常盤 地区	③ 都 地区	④ 赤井川 (市街地)	⑤ 日ノ出・ 旭地区	⑥ 冷水峠～ 中の川橋	⑦ 余市駅	⑧ 大川 十字街	⑨ コープ さっぽろ 余市店前
問5 降車場所								
① キロロ リゾート	② 落合・常盤 地区	③ 都 地区	④ 赤井川 (市街地)	⑤ 日ノ出・ 旭地区	⑥ 冷水峠～ 中の川橋	⑦ 余市駅	⑧ 大川 十字街	⑨ コープ さっぽろ 余市店前
問6 いま乗車している便								
① 【1便】	② 【2便】	③ 【3便】	④ 【4便】	⑤ 【5便】	⑥ 【6便】	⑦ 【7便】	⑧ 【8便】	
問7 目的地の市町村				問8 年齢				
① 赤井川村	② 余市町	③ 小樽市	④ 札幌市	⑤ その他 市町村	① 中学生 以下	② 高校生	③ 18～ 64歳	④ 65歳 以上
問9 むらバスの利用頻度						問10 性別		
① ほぼ 毎日	② 週に 2～3日	③ 週に 1日	④ 2週間に 1日	⑤ 月に 1日	⑥ 数ヶ月に 1日	⑦ 初めて 利用した	① 男性	② 女性

ご協力ありがとうございました。降車の際に回収BOXに入れてください。

【達成状況】 ○：令和6年1月に調査を実施

1. 地域公共交通計画に定めた評価指標の達成状況

□ その他推進状況

- 通学時間帯における村外交通との接続状況は、接続性の確保に加え乗り換え場所などをバスマップにて周知、バスロケーションシステムの導入
- 意識醸成の場や機会の創出回数、広報での周知回数ともに、必要な機会は創出されている認識であるため、未達成ではあるが継続して施策等の実施に努める
- 地域公共交通従事者の確保は、赤井川ハイヤー、キロロリゾートともに運転手体制は確保されている



令和5年4月1日より、「むらバス」の運行ダイヤ及びバス停の位置、運行経路に変更がありますのでお知らせします。

■主な変更点

- バス停「常盤」が赤井川山村生活支援センターの敷地内に設置されます。
(今まではキロロ寮と赤井川山村生活支援センターの中間地点に設置されていました。)
- 常盤地区にありますが、キロロ寮の敷地を経由し運行します。
- 6便の変更
午後2時25分の余市発赤井川方面行きを午後3時55分余市発に変更します。
その他のダイヤ改正は6便の変更による調整、バス停・運行ルート変更に伴う所要時間の反映となります。
詳しくは、3月15日の区会回覧にてお配りした、「むらバスマップ」をご覧ください。



※運賃、定期券、フリー乗降区間(バス停「生活館前」～「常盤」)に変更はありません。

■令和4年4月～令和5年2月までの乗車実績
令和4年4月1日より運行を開始し、令和5年2月末時点の乗車人数は、2,995人(延べ)となっており、前年同月(令和4年2月末時点、5,165人)と比較約1.6倍の乗車率となりました。

これらとひとし、ご利用して下さる皆さまのおかげです。いつもご利用いただきありがとうございます。
今後も、乗車される皆さまはもとより、地域公共交通活性化協議会などを通じ行政だけでなく、関係機関や住民の皆さまと「地域のみんなで創り続けるむらバス」を目指していきます。
これからも「むらバス」をどうぞよろしくお願いいたします。

■お問い合わせ
総務課総務係 TEL0135-34-6211

■運行に関するお問い合わせ
(有) 赤井川ハイヤー TEL0135-34-6259



広報あいのこ 2023.4.1

2023.08.10
北海道新幹線落合工区見学会

令和5年8月8日に夏休み中の赤井川村内の小学4年生～6年生や保護者を対象に北海道新幹線、後志トンネル(落合)工区の見学会が行われました。

後志トンネル(落合)工区では、平成28年から掘削が行われ、令和5年に約7年の月日をかけてトンネル掘削が完了しました。

見学会では、鉄道・運輸機構から北海道新幹線の概要説明や大成・佐藤・田中・堀松JVから後志トンネル(落合)工区の工事概要説明が行われました。

参加者はトンネル内の涼しさやトンネル、明かり(高架橋・橋りょう)の建設費用の他、トンネル掘削時の勤務体制や1日に掘削できる距離数に驚きの声が聞かれました。また、当日は集合場所にむらバスを利用される方もおり、むらバスに親しむ機会となりました。



Mura Bus Map

Fares and Commuter Pass

Fares can be paid with a pre-purchased commuter pass or in cash at the time of boarding. Please note that no change will be given for cash payments.

Service area	Fare
Akaigawa ↔ Yoichi	¥ 300
Within Akaigawa	¥ 100
Within Yoichi	¥ 200

Preschool aged children are free

Timetable (weekdays)

Direction/Destination	To Yoichi		To Akaigawa		To Yoichi		To Akaigawa		To Yoichi		To Akaigawa	
	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th	9th	10th	11th	12th
Kiroro Mountain Center		8:43	9:15			16:58	17:12	19:28				
Kiroro Chapel		8:40	9:18			16:55	17:15	19:25				
Tokawa	5:53	8:34	9:24			16:49	17:21	19:19				
Kiroro Dormitory	5:55	8:32	9:26			16:47	17:23	19:17				
Akaigawa Roadside Station		8:16	9:42	12:43	14:10	16:31	17:39	19:01				
Seicomart	6:20	8:08	9:52	12:35	14:20	16:23	17:49	18:53				
Yoichi Station	6:45	7:45	10:17	12:12	14:45	16:00	18:14	19:30				
Okawa Jijigai		10:19	12:10	14:47	15:58							
Cool Sapporo Yoichi			10:22	12:07	14:50	15:55						

Area Timetable (weekends)

Direction/Destination	To Yoichi		To Akaigawa		To Yoichi		To Akaigawa		To Yoichi		To Akaigawa	
	1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th	9th	10th	11th	12th
Kiroro Mountain Center		9:23	10:25	14:25	17:12	19:28						
Kiroro Chapel		9:20	10:28	14:22	17:15	19:25						
Tokawa	7:18	9:14	10:34	14:16	17:21	19:19						
Kiroro Dormitory	7:20	9:12	10:36	14:14	17:23	19:17						
Akaigawa Roadside Station	7:36	9:56	10:52	13:58	17:39	19:01						
Seicomart	7:46	9:40	11:02	13:50	17:49	18:53						
Yoichi Station	8:11	9:25	11:27	13:27	18:14	19:30						
Okawa Jijigai		11:29	13:25									
Cool Sapporo Yoichi		11:32	13:22									

*Service times may be affected by route conditions such as weather.
*Please note that service times and the number of buses for weekends and holidays differs from weekdays.

1. 地域公共交通計画に定めた評価指標の
達成状況
2. 令和6年度共創モデル実証運行事業
結果報告
3. 令和7年度「交通空白」解消緊急対策
事業の実施について

事業名	事業概要	事業の効果
通院交通実証運行	■ 冬期間における余市協会病院までの通院交通の実証運行を実施	■ バスの大型化と増便、ルート延伸により利用者が増加。2023年12月：2,821名 → 2024年12月：3,731名、2024年1月：2,661名 → 2025年1月：4,562名
実証運行車両購入	■ キロロの外国人スタッフの増加に対応するため、大型バスを導入し、2台体制で実証運行を実施	■ 乗り漏れや予備車の稼働を防ぎ、移動ニーズに応える体制を構築
キャッシュレス導入	■ むらバスにキャッシュレス決済機器を導入（現金・定期券からの改善）	■ 利用者から利便性向上の声あり。2024年12月：162名（182件）、2025年1月：238名（291件）、2025年2月：185名（221件 ※2/26時点）
乗継シームレス化	■ 鉄道・路線バス・地域内交通とのシームレスな乗継を検討	■ 実証運行便の追加でむらバスと鉄道の接続が向上。交通体系のあり方を整理
雇用確保実験	■ 6月（農産物少）・9月（農産物多）に物流との連携による乗務業務創出の実証実験を実施	■ 物流との連携のみで通年雇用には至らず。ただし、物流の自社運搬によるコスト削減と問題解決に成功し、自社運搬を開始
観光周遊促進	■ 夏季の観光コンテンツ強化のため、レンタサイクル等による観光周遊型交通体系の構築を実施	■ 2024年9月に実証実験（利用者9名）を実施し、需要を確認。今後は自転車積載実証や冬季アクティビティとの連動などの検討を予定

1. 地域公共交通計画に定めた評価指標の
達成状況
2. 令和6年度共創モデル実証運行事業
結果報告
3. 令和7年度「交通空白」解消緊急対策
事業の実施について

補助事業概要

「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（令和7年度）

「交通空白」解消緊急対策事業

【担当部署】
・総合政策局（地域交通課）
・物流・自動車局（旅客課）

何らかの対応が必要な「交通空白」を抱える地域において、「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援します！

補助対象事業者

公共ライドシェア・日本版ライドシェア等、新たに導入する交通サービスの運行主体（運行委託する場合を含む）となる
地方自治体、交通事業者、NPO法人、観光協会、商工会、社会福祉協議会等又はそれらを含んだ協議会 ※

補助対象経費

- ① 事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会・説明会等開催に要する費用
（悉皆ヒアリング調査・利用予測シミュレーション、有識者謝金・会場使用料等）
- ② サービス提供のために必要となる車両の導入、配車アプリ・運行管理等のシステム開発・導入、運転者募集等に
要する費用（車両の購入・リースによる取得、仕切板、ドライブレコーダー等の設置、運転者を募集するための広告費用等）
- ③ 実証事業に要する費用（運行経費、実証事業後の利用データ分析、路線・区域・料金設定等の検討等）

【事業イメージ例】 以下のような検討段階から地域の合意形成までの取組みについて、ワンストップの支援を想定

- 公共ライドシェア等の導入にあたり、実証運行する地域・時間帯の特定に向けた調査、利用予測シミュレーション 等
- 実証運行の実施体制構築・合意形成に向けた地域内調整
- 実証運行に係る車両・配車アプリ等の導入、車両改装・ラッピング、運転者募集 等
- 実証運行経費・実証運行後の利用データの分析・検証 等
- 本格運行に向けた住民説明会



▲公共ライドシェアの立ち上げ（イメージ）

補助④

500万円まで定額、500万円を超える部分は2/3（上限1億円）

- ※ 車両購入に係る費用については定額補助の対象外（車両購入は、対象事業者自身が有する車両がサービス提供のために活用することができない場合に限る）
- ※ 都道府県が主導するなど複数市町村が共同してサービスを提供することを予定している場合、補助対象経費のうち①については定額の引き上げ（上限2,000万円）
- ※ 一度本補助を受けた同一自治体内において同一類型の別の事業（別地域での実施）への補助を受ける場合、2件目以降の補助については1／2

問合せ先

令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト 事務局
メールアドレス： contact@kotsu-kuhaku.jp
コールセンター： 0570-000984

公募期間

令和7年3月10日（月）～4月7日（月）

【採択時期目安：令和7年4月中（予定）（先着順）】

※ 既存路線の廃止・減便等を受けた代替交通の導入であって、かつ
緊急的な取組の必要性が高いものに限り、先んじて採択を行う場合があります。

※ 応募にあたっては、自治体が「交通空白」と認める地域で実施することが要件となります。
※ 自治体については、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームに加入していることが要件となります。

□ 赤井川村での“交通空白”の認識

時間帯の”空白”

赤井川村唯一の路線型定期運行「むらバス」は季節による移動需要の差が大きく、積雪期には現行ダイヤでは対応しきれず、時間帯による交通空白が発生している。

交通サービスの”空白”

むらバスは路線型定期運行であり、他の交通サービスは福祉用途に限られ、法人タクシーの対応も難しいため、住民及び観光客の移動需要に対応できておらず、提供される交通サービスに空白がある

交通資源の”空白”

交通事業者2社の努力で現状の交通サービスの提供体制を維持しているが、1社の運営継続が困難であり、交通資源の空白が顕在化している

□ 想定スケジュール

事業概要	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①むらバスの運行時間帯拡充実証実験 →既存の車両を使用 →ニーズのある時間帯の運行拡充					関係者調整・ダイヤ調整				
					周知等準備期間				
					実証実験期間				
					利用状況等調査				
②交通空白解消に向けた 新たな交通サービスの実証運行 →地域内の交通空白の解消 →ニーズのある交通サービスの実証					関係者調整				
					周知等準備期間				
					実証運行期間				
					利用状況等調査				
③体制確保に向けた関係者等ヒアリング →地域内の人的リソースを網羅的に把握 →次年度以降の持続可能性の確保に 向けた体制の検討					関係者ヒアリング				
					地域住民ヒアリング				
					次年度以降の体制検討				